

編集／議会広報特別委員会 発行／名張市議会 名張市鴻之台1-1

☎ 63-7834 FAX 64-8870 ✉ gikai@city.nabari.lg.jp



市議会ホームページ



市議会フェイスブック



市議会ユーチューブ

議長に永岡議員が就任

4月17日に行われた招集議会において、永岡禎議員が第74代名張市議会議長に就任しました。議長就任のあいさつでは、『和』の言葉を掲げ、様々な面から名張市議会をひとつにすることを目標とし、市立病院の地方独立行政法人化や中学校給食の実施、近隣自治体との広域連携について注視していくと述べました。市民の皆様の負託に応えるため、議員間の意見交換がより活発にできる場を設けるなど、議長としての役割を果たしていく決意で職務に臨みます。



全国市議会議長会定期総会で演台に立つ議長

全国市議会議長会定期総会

5月22日、全国市議会議長会定期総会が東京国際フォーラムで開催されました。総会では、介護職や保育職等の処遇改善や医師確保に関する財政支援制度の創設など、福祉・保健・医療施策の充実強化を求める要望が東海部会より提出され、提案市である本市の永岡議長が提案理由の説明を行いました。要望は承認され、全国市議会議長会より国に対して提出されます。

常任委員会の紹介

総務企画委員会

<後列左から>

藤川 美広、木平 秀喜、細矢 一宏
吉住 美智子

<前列左から>

【委員長】川合 滋

【副委員長】常俊 朋子



総務企画委員会は、シティプロモーションや防災、税金、選挙に関する事項などについて取り扱います。今年度は、防災力の向上や財源確保をテーマに所管事務調査を行います。

教育民生委員会

<後列左から>

足立 淑絵、柏 元三、三原 淳子
永岡 禎

<前列左から>

【委員長】富田 真由美

【副委員長】福田 博行



教育民生委員会は、子育てや教育、福祉、病院、地域づくり、人権に関する事項などについて取り扱います。今年度は、子どもの居場所づくりをテーマに所管事務調査を行います。

産業建設委員会

<後列左から>

坂本 直司、阪本 忠幸、山下 登

<前列左から>

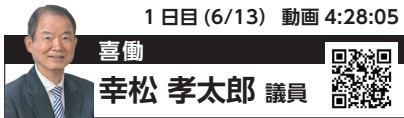
【委員長】小林 勝

【副委員長】幸松 孝太郎



産業建設委員会は、観光や農業、商工業、交通、水道、公園、空家に関する事項などについて取り扱います。今年度は、上下水道や地域公共交通をテーマに所管事務調査を行います。

※所管事務調査…議案等の審査や市への政策提言などを目的に、委員会が自主的に所管する事務について行う調査



1 日目 (6/13) 動画 4:28:05

喜働

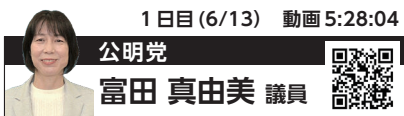
幸松 孝太郎 議員

Q 「未来カルテ」の活用

千葉大学の教授が公開する未来カルテ 2050 では、産業構造など 30 項目に及ぶ分析によって、人口減少社会における名張市の将来の姿や厳しい財政予測が示されている。この未来カルテを活用し、未来を見据えたビジョンをつくる必要があると考える。

A 全庁的に共有する

現在、職員で構成するワーキンググループにおいて、職員数の減少や産業構造の変化、児童・生徒数の減少など、2050 年を見据えた議論をしている。未来カルテはその検討材料として活用しており、今後、全庁的に共有する。



1 日目 (6/13) 動画 5:28:04

公明党

富田 真由美 議員

Q 子どもアドボカシーの推進

子どもは自分に関係することについて自由に意見を表す権利を持っており、その権利を保障するための取組が「子どもアドボカシー」である。子どもの権利を守るため、子どもの声を聴き、この取組を積極的に推進していくべきだと考える。

A 相談できる環境を整える

本市では総合福祉センターふれあいに子ども相談室を設置し、専属の相談員を 1 人配置している。子ども自身が子どもの権利を知るための取組を進め、相談できる環境をさらに整えるとともに、学校や地域の大人に対する啓発にも取り組む。



1 日目 (6/13) 動画 1:28:07

喜働

川合 滋 議員

Q 学校水泳の在り方

各小学校のプールが老朽化している。財政的に修繕が困難であるならば、ひとつひとつ改修するのではなく、市民プールや民間のスポーツ施設を活用して水泳の授業を実施してはどうかと考える。

A 事例をもとに総合的に検討

機器の不具合などにより市民プールの利用を休止している中、名張市スポーツ推進審議会からは市民プールにおける民間活力の導入について答申を受けている。県内では民間の施設で水泳の授業を行っている自治体もあるため、市民プールと併せて学校水泳の在り方を総合的に検討していく。



1 日目 (6/13) 動画 3:20:00

清風クラブ

小林 勝 議員

Q 旧老人福祉センターの活用

旧老人福祉センターの利活用は、地域住民と対話を重ねながら検討していただきたいが、現状と今後の方針について市の考えを問う。

A 県の教育委員会と協議中

旧老人福祉センターは、老朽化が進んだことによって利活用ができず、市の備品などの保管のために一部を使用している。この敷地は、県の史跡に指定されており、地域住民が望んでいるセンターの解体や地域の活性化につながる跡地の利活用に関して、県の教育委員会と協議をしているところであり、財源の確保についても検討していく。

一般質問の動画を配信中！

ユーチューブで、一般質問の動画を配信中。各議員名の右のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると視聴できます。また、QRコード上の数字は質問の開始時間です。併せてご確認ください。



質問日 / 動画開始時間

会派

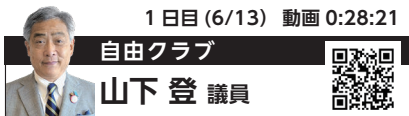
名張 太郎 議員

QR
コード

ぜひ、チャンネル登録を！



名張市議会 YouTube チャンネルでは、全ての本会議の様子を配信しており、過去の定例会も視聴できます。



1 日目 (6/13) 動画 0:28:21

自由クラブ

山下 登 議員

Q 多文化共生社会の充実を

多文化共生の定義は、国籍や民族などの異なる人々が互いの違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこととされる。共生社会の充実に向けた取組を問う。

A 多様な課題の解決を目指す

外国人住民と地域住民とが共に理解し暮らせる地域を実現するため、令和 2 年に多文化共生センターを開設した。また、外国人住民を取り巻く多様な課題の解決に向け、多文化共生指針を策定しており、外国人住民を含むすべての市民が、互いに支えあい、幸せに暮らせるまちを目指す。

3日目(6/17) 動画 0:22:30



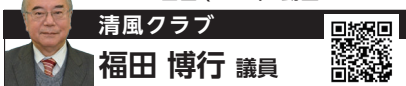
Q 放課後子ども教室の運用

放課後子ども教室は原則として各小学校区に設置することになっているが、現状は小学校と関係の薄い7つの地域づくり組織に設置され、肝心の放課後に行われず、週末などに実施されている。一部の地域づくり組織に運営を丸投げした理由は何か。

A 週末や長期休暇中に活動

本市では放課後子ども教室を様々な体験活動を通じた子どもの居場所づくりと考えている。世代間交流を目的に、地域に委嘱する形で実施しており、導入時より「放課後児童クラブ」が活動しない週末や長期の休暇中に活動している。

3日目(6/17) 動画 1:22:01



Q 返礼品にブランドロゴを

名張市のブランドロゴが市民の投票により「なんとかなるなる。なばりです。」に決定した。ふるさと納税の返礼品として、このロゴを採用したオリジナル商品を作れば、納税額の増加が期待できるのではないか。

A グッズの商品化を検討

寄附いただいた方々とのつながりが大切と考え、現在、プロモーションの一環として寄附者限定の広報を発行している。ロゴ入りグッズの商品化については一部の事業者から問い合わせがあった。プレミアム感があり、返礼品になり得る商品を提案いただけるよう連携を図りたい。

2日目(6/14) 動画 3:17:09



Q 歴史的建造物の保存と活用

市内には、歴史的価値があるにも関わらず、誰も居住せず、使われていない文化財が多くある。市で購入し保存・活用することが困難であれば、登録有形文化財への登録を推進し、国から重要伝統的建造物群保存地区の指定を受けるなど、国からの財政支援につなげるべきと考える。

A 市としての支援を検討する

提案いただいたことが文化財の保存や活用には必要であると認識しているが、国の認定を受け、地域の理解を得るには時間がかかる。文化財の保存について、どのような支援ができるか検討していく。

2日目(6/14) 動画 4:17:06



Q 農福連携の取組について

めばえファームをはじめとする本市の農福連携の取組について問う。

A 農業で社会参加を支援する

名張市アグリ雇用推進協議会では農業分野における障がい者雇用を目指して、農業や福祉、特別支援学校の関係者と市が連携し、農福連携に取り組んでいる。代表的な取組として、めばえファームでは障がい者の方などが農業ジョブトレーナーの支援を受けながら野菜の栽培を行っている。対人が苦手な方も多いため、社会参加の訓練として、毎週木曜日に自分が作った野菜を市役所一階ロビーで対面販売している。

2日目(6/14) 動画 0:17:47



Q 入湯税の再導入について

入湯税とは温泉（鉱泉浴場）の入湯客にかかる税金で、その収入を環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防設備の整備や観光の振興に要する費用に充てることのできる目的税である。平成23年の9月定例会において入湯税を徴収しないよう市税条例が改正されたが、観光に力を入れる本市において、再導入してはどうか。

A 財政を全般的に見直す

入湯施設の利用促進を目的に、入湯料金が1,000円以下の場合に入湯税を課さないとしているが、財政状況が厳しいため、入湯税を含めて財政を全般的に見直す。

2日目(6/14) 動画 1:17:05



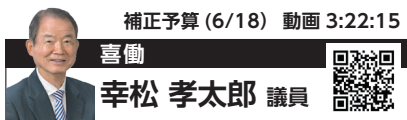
Q 避難所の安全確保を

南海トラフ地震に関する特別措置法に基づき、市民の生命、身体及び財産を災害から保護し、地域社会の安全と福祉の確保を図るため、名張市防災計画が改定された。発災時における避難所への避難者は1,400人との想定だが、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域に建っている指定避難所がある。危機感を持って避難所の安全を確保するよう求める。

A 良好な関係に向け協議する

14の指定避難所が警戒区域内にあり、市民の安全と良好な生活環境が両立できるよう、地域住民や施設の管理者と継続的に協議していく。

6月定例議会 一般質問等 Q&A



Q 有機農業体験事業について

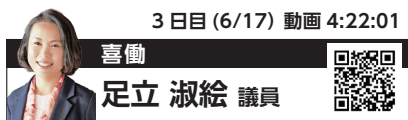
620万円を計上する有機農業体験事業について、事業内容やオーガニックビレッジ宣言後に予定する取組などを問う。

A 食文化体験ツアーの造成

農作業を体験し、自ら収穫した有機野菜を使って郷土料理を味わうなど、食文化の体験が一連となった一泊二日の市内周遊ツアーを造成する予定で、この背景にはオーガニックビレッジ宣言を契機とし、有機農業の産地づくりを後押しする目的がある。モニターツアーの実施やツアーガイドの育成、販路の開拓などを進め、来年2月末までに商品化したいと考えている。

※1 / ICT…通信技術を活用したコミュニケーション

※2 / オーガニックビレッジ…有機農業における生産から消費まで、農業者のみならず事業者や住民をも巻き込み、地域ぐるみで取組を進める市町村

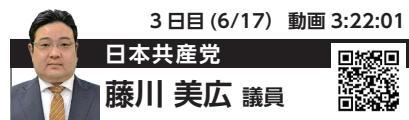


Q 公民連携窓口の設置

桑名市では、民間事業者等の提案をワンストップで受ける公民連携窓口として「コラボ・ラボ桑名」を設置しており、民間ノウハウを活用して経常収支比率を改善させている。本市も設置してはどうか。

A 他市の事例を調査研究する

社会情勢の変化に伴い、多様化・複雑化した住民サービスを行政だけで提供し続けることは困難になってきている。桑名市は行政の持つ限られた資源を無駄なく活用するとともに「公民連携」の考え方を取り入れている。他市の事例を調査・研究し、必要な体制について検討していく。



Q 知る権利を守る施策実施を

IT化の急速な発展に伴い、本市の情報発信もデジタルに偏りつつある。行政サービスにおいて不公平が生じてはならないが、視覚障がい者や支援を必要とする市民には情報が行き届かず、取り残された状態である。誰もが平等に情報を受け取れるよう、広報なばり点字版の郵送やICTに関する支援の充実など早急な対応を求める。

A 企画段階から常に意識する

施策を進める上で、取り残される市民の有無を常に意識しながら企画、実施するよう努め、指摘いただいた現状についての対処も早急に検討する。

6月定例議会 議決結果

議案の一部を掲載

令和6年度一般会計補正予算

一般会計で3億4,645万6千円の増額補正を行いました。主な内容は、夏休みにおける地域の集会所を利用した子どもの居場所づくり、障がいの有無や年齢にかかわらず楽しめるインクルーシブ遊具の設置など「みえ子ども・子育て応援総合補助金」を活用した事業や、赤目滝水族館渓谷ナイトツアー等の観光コンテンツ造成支援事業などで、全会一致で可決となりました。

多様な人材の地方議会への参画促進を求める意見書

近年、議会への関心の低下や議員のなり手不足が深刻化しており、多様な人材の確保が多くの地方議会において課題となっています。このことを踏まえ、安心して議員に立候補し、議員活動が続けることができる環境の整備を国に求める意見書が議員提案により提出され、賛成多数で可決しました。

意見書では、主権者教育の推進や会社員が立候補しやすい環境整備、自治体の負担を抑えた上での厚生年金加入、政治分野における男女共同参画の推進を図るための取組への支援などを求めています。

議決結果

○ 賛成
× 反対
欠 欠席

日本共産党		喜働			自由クラブ			清風クラブ			公明党				
藤川	三原	足立	幸松	川合	木平	山下	柏	小林	坂本	常俊	福田	阪本	富田	細矢	吉住
×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠

※永岡議長は採決に加わりません。

その他の議決結果はホームページに掲載しています。また、議決結果は名張市公式LINEでもお知らせします。ぜひ友だち登録し、受信設定から「議会」の情報を受信するよう設定してください。議決結果のほか、会議予定や一般質問の通告一覧などを発信する予定です。



議決結果 (HP)



市公式 LINE

特別委員会の紹介

議会改革特別委員会

<後列左から>

坂本 直司、山下 登、細矢 一宏、三原 淳子、川合 滋

<前列左から>

【委員長】 福田 博行 【副委員長】 富田 真由美



各会派から提案された改革事案などを基に協議し、検討を進めています。昨年度は、災害の発生など有事の際に、委員会をオンラインで開催できるよう整備し、今年度についても役員任期の見直しなどについて協議していきます。

議会広報特別委員会

<後列左から>

藤川 美広、木平 秀喜、阪本 忠幸、幸松 孝太郎

<前列左から>

【委員長】 足立 淑絵 【副委員長】 坂本 直司



「なばり市議会だより」の編集・発行を行っています。昨年度は、名張高等学校の新聞部や人文専攻などの生徒の皆さんと意見交換会を実施しました。いただいたご意見も参考に、より議会を身近に感じることのできる広報紙を目指していきます。

名張市議会 News

伊賀市・名張市議会連絡協議会 総会を開催

5月29日に伊賀市・名張市議会連絡協議会の総会が名張市で開催され、両市の議長や副議長、常任委員会委員長が出席しました。

協議会では、これまで両市における共通の課題を研究するとともに、伊賀地域の鉄道の利用促進と利便性の改善を求めて西日本旅客鉄道株式会社に要望書を提出するなどしてきました。

総会では、昨年度の事業報告がされたほか、今年度の事業計画について協議されました。



25年以上在職議員 3人が表彰される



福田 博行議員、川合 滋議員、永岡 禎議員の3人が議員在職25年以上となり、全国市議会議長会と東海市議会議長会より、表彰されました。

この表彰を受け、6月7日に本会議場にて表彰伝達式を行いました。

9月定例議会日程

9月3日(火)	議案上程	18日(水)	決算特別委員会 (企業会計)
9日(月)～11日(水)	一般質問	19日(木)	総務企画委員会
12日(木)	補正予算質疑	20日(金)	教育民生委員会
13日(金)	決算質疑	24日(火)	産業建設委員会
17日(火)	決算特別委員会 (一般・特別会計)	27日(金)	採決

開議時間は午前10時からです。全ての本会議（委員会を除く）がケーブルテレビで中継されます。なお、YouTubeでは上記の会議全てを配信する予定であり、過去の会議も視聴することができます。

市議会議員と意見交換しませんか？

市内の企業・団体、学生の集まり、近所のパパ・ママグループなど、市内に在住・在勤・在学の5人以上のグループであれば誰でもOK！

希望する日時や場所、テーマを決めてお申し込みください。

詳しくは、右のQRコードからチェック！

